

7月25日 えびなっ子スクール「いざ！という時に役に立つ防災講座」の報告

2018年7月27日（金）

文責 大野雅人

【日時】2018年7月25日（水）9：15～11：00（会場設営8：30時～）

【会場】海老名市立有賀小学校（3階601教室）

【実施団体】主催：海老名市教育委員会、有鹿小学校えびなっ子スクール

【出席者】海老名災害ボランティアネットワーク会員5名（福田、野本、舘、小澤、大野雅）

【参加者】児童13名（5年生男子5名、5年生女子4名、6年生男子4名）

サポートとして父兄のボランティア2名

〈講座プログラム〉9：15時～11：00

司会進行：福田

座席：5年生男子5名、5年生女子4名、6年生男子4名がそれぞれ机をつけて3つの島にした。

海老名災ボラメンバー4名がそれぞれの島のサポートを行った。

【プログラム1】「シェイクアウト訓練」9：20～9：30

内容：シェイクアウトの由来「アメリカで発明され、ドロップ（しゃがむ）、カバー（頭を守る）、ホールドオン（じっとしている）を説明し、実際に地震発生！という掛け声とともに実施。

その後、最後に1度抜き打ちで実施。

【プログラム2】「ブルーシートによるテント作り」9：30～10：00

内容：当初は体育館で、本物のブルーシートによるテント作りを予定していたが、熱中症の危険があるため、教室内でコピー用紙（A4）を使った模型でのテント作りに変更した。

（作成方法は当日配布の資料参照）

各チームがそれぞれ1人ずつ、資料を見ながら机の上に紙のテントを作成した。

（※ポールは鉛筆・ボールペン類で代用）。

道具：コピー用紙とセロハンテープは海老名災ボラが準備、鉛筆・ボールペンは各自のもの。

【プログラム3】「ロープワーク」10：05～10：35

内容：ブルーシートテントの設営に必要な、巻き結び、ふた結び、ペグ結び、自在結びの4つの結び方を練習した。（それぞれの結び方は当日配布の資料参照）

巻き結びはスーパーボールをハンカチ・タオルで覆い、ロープを結んだ。

ふた結び・ペグ結び・自在結びは、机やいすの足にロープを結んだ。

道具：スーパーボールとロープは海老名災ボラが準備、ハンカチ・タオルは各自のもの。

【プログラム4】本日の講座についての振り返り 10：40～10：55

（講義の感想、児童）

- ・初めてロープの結び方をやったので、難しかった。
- ・もし、本当の災害が起こったら、実際に使ってみたい。
- ・実際の災害時に、難しい結び方ができるかどうか心配。

- 難しかったが、優しく教えてもらったので、災害の時に役に立つと思う。
- テントは簡単だったが、実際にブルーシートで作るのは難しいと思う。(同様意見他 1 名)
- 「ふた結び」は簡単だったが、「自在結び」は難しかった。(同様意見他 1 名)
- 今日教わったことを災害の時に使いたい。(同様意見他 2 名)
- 簡単な結び方が多いので、災害時に使いたい。
- 実際に、三角テントを作ってみたい。

(司会より児童への質問)

「1 週間後の夜 6 時に震度 6 弱の地震が起きたら、自分がいる場所で、どういう行動を取るか？」

- たぶん家にいると思う。
 - 家の中で、安全な場所を探して身を守る。
- ※同様の意見多数。

その後、全員で会場の掃除・後片付けを実施して解散。

以上